

## スポーツ推進計画（改訂版）策定スケジュールについて

令和3年

11月12日

第2回スポーツ推進審議会  
改訂版案の検討、審議

令和4年

1月中下旬

第3回スポーツ推進審議会  
スポーツ推進計画（改訂案）の検討

1月中下旬

教育委員会定例会  
スポーツ推進計画（改訂案）への意見・聴取

1月27日

第2回社会教育委員の会議  
スポーツ推進計画（改訂版）の説明

2月

パブリックコメント実施

3月中下旬

第4回スポーツ推進審議会  
パブリックコメントの意見とその対応について審議

3月末

スポーツ推進計画（改訂版）の策定

## 審議案件に関する質問・意見等について(まとめ)

### 第1章 スポーツ推進計画の改訂にあたって

		質問・意見等	回答
(1)改訂の趣旨 (2)基本的視点 (3)位置づけ (4)目標年次 (5)本計画における「スポーツ」「運動」の定義について	長田委員	・多様な生涯スポーツ活動の推進に関して 生活の一部にスポーツを取り入れ生涯にわたって親しむことは、これまでも増して重要になっています。その場合、競技スポーツだけでしょうか。親しみ楽しむスポーツ活動を一層定着させることの重要性の表現を追記すべきと期待しますが如何でしょうか。更にスポーツ団体等と連携しとありますがその運営及び具体的取組みに関して、どのような表現にすべきでしょうか。	改訂の趣旨や基本的視点において、生涯スポーツの重要性について記載しております。今回の改訂においては、生涯スポーツの重要性に加え、競技スポーツの推進についても追記しております。市とスポーツ関係団体との連携については、基本目標2施策の方向性(4)で記載しており、さらに各団体が主体的に対象年齢や競技種目などに応じて連携・協力することを追記しております。
		・生涯スポーツ活動を可能にする環境の充実に関して 多様なスポーツ施設の整備及びスポーツ関係団体や指導者の支援に取り組んでいくとありますが具体的計画が年度別に時系列な表現に期待しますが如何でしょうか。更に、スポーツを通して地域との交流も促進するとありますがその地域とは具体的に何と何を指すのでしょうか。公民館やコミュニティセンター連合自治会等との連携はいかにあるべきでしょうか。	「第5章 計画の推進に向けて」の「1 計画の推進体制」に記載のとおり、今回の改訂内容に沿った改善策などを立案して、年度ごとに作成する第5次茨木市総合計画の実施計画に反映していきます。また、本計画で掲げている成果指標のうち、年度ごとに把握できる数値については、その進捗状況を作成してまいります。 「地域」とは地域住民や地域組織を考慮しており、これらの方と連携して実施する地区体育祭や公民館のスポーツ講座などを通して交流の促進を図ります。
		・位置づけに関して 総合計画におけるスポーツ推進のための基本施策を具体化する分野別計画に位置づけられるとありますがその分野別計画書を明確にして進捗管理が重要と考えますが如何でしょうか。	「第5章 計画の推進に向けて」の「2 施策や事業の点検・評価」に記載のとおり、成果指標などをもとに、達成度を測り、取組状況を評価するなどして進捗管理を図ります。その際には、スポーツ推進審議会の意見もいただいております。
		・目標年次に関して 参考とありますが改訂スケジュールを公表することは如何でしょうか。周知して衆知することが重要で必須だと考えますが如何でしょうか。	「参考」の文言は不要なため削除します。本審議会の議事録を公表する際に、改訂スケジュールを公表します。
		・本計画における「スポーツ」と「運動」に関して 案外理解できていないのでしょうか。周知することの必要性を感じますが如何でしょうか。	「スポーツ」と「運動」については、様々な解釈があり、本計画における定義は改訂案に記載のとおりです。本計画を周知、推進していく中で、この定義についてもお知らせしてまいります。
	高寺委員	1P:家族等の少人数でも多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりを進めたとあるがその具体例は？	今年度新たに始めた取組としては、本年10月から11月にかけて、コロナ禍においても少人数で、好きなタイミングで参加できるウォーキングイベントを実施しております。
		5P:「スポーツを支える人材不足」とは、どのような人材が不足しているのか？ 12・13Pの大会の際に、部活指導員等の募集ピラを配布してはどうか？【大阪市教育委員会で実施】	国の次期スポーツ基本計画が議論される中で、スポーツを支える人材として、指導者、大会等運営、団体運営、イベントボランティアなどが想定されています。本市においては、今回のスポーツ団体向けのアンケート結果から、不足している人材として「団体運営を担う人材(34.2%)」「指導者(26.3%)」よりも、「団体登録者(プレーヤー・選手)(63.2%)」の不足が伺える結果となっています。 部活動指導員等については、不足があった場合、教育委員会、体育協会や総合型地域スポーツクラブと連携して対応しております。
		7P:30～50代男女等の運動実施率をあげるには、平日の体育館の空き時間に競技初心者教室の開催が有効	働き世代や子育て世代の需要などを踏まえて検討してまいります。
		9P:スポーツ推進委員は公民館単位と一般公募で各何名おり、活動報告義務や報酬はあるのか？	公民館推薦：40人、公募：14人、報酬：月8,200円 活動内容については報告書を提出していただいております。

### 第2章 スポーツ推進の現状と課題

		質問・意見等	回答
(1)茨木市の背景と現状 (2)国・大阪府の動き (3)茨木市におけるスポーツ活動の現状 (4)計画前期における施策・指標の振り返りと課題 (5)アンケート結果からみる現状 (6)計画の改訂に向けた考え方と方向性	高寺委員	24P:スポーツ施設利用者数は新型コロナによる施設閉鎖・時間制限を除けば、スポーツ意欲の低下でないのでは？	昨今の健康意識の高まりからスポーツに取り組みたいと思っている市民の割合は少なくないと考えております。
		25P:健康遊具として、安全の為に砂場に低いボルタリングウォール(壁)を設置したらどうか？	現在、市民体育館の玄関ホールに子ども用のクライミングウォールを設置しております。砂場がある公園施設での設置については、担当課にご提案内容をお伝えします。
		27P:高校生以下のスポーツ大会への参加者を増やすには、学校行事や中間・期末試験の日程を考慮すべき	学校行事などに加え、施設の空き状況や他の大会の開催状況など、様々な要因の中で実施時期を検討し、実施されております。
		30P:西河原屋内運動場はカーテンが劣化、且つ窓に大型換気扇の設置で南側から日光が入り競技に悪影響	現状を確認して対応を検討いたします。
		31P:前回の審議会で、部活動指者は14校に73名と回答があったが、この数字が現状値ではないのか？	成果指標におけるスポーツ(ニュースポーツ、部活動等)指導者の登録者数は、部活動指導者等と異なります。なお、現在、指導者の登録者数を成果指標としておりますが、登録制度は創設せず、ライフステージの特性を踏まえて、教育委員会や体育協会等と連携し指導者を派遣しておりますので、改訂後の成果指標から指導者の登録者数は削除しております。
		32P:トップチームとの連携はスポーツ意欲向上に有効なので、箕面のサントリーサンパレーボールや履正社の野球部監督が茨木市民なので、Contactし、練習見学会や指導教室の開催などの企画はどうか。	トップアスリート交流事業の中で検討してまいります。
	片桐委員	①5ページ・・・体力テスト スポーツ少年団で実施の体力テストも従来の量から質を求めるように方向転換しております。先日9/20(祝月)に順天堂大学：辻川先生にお越しいただき講習会を実施しました(適正テストIIです)。そのあたりの情報を今回会議で発表させていただきます	-
②6ページ・・・市内スポーツ施設 男女問わず施設周りの環境を改善して頂きたいと思っております。具体的には、トイレの洋式化です(春日丘運動広場・若園運動広場等です)		トイレの洋式化は順次進めており、若園運動広場は既に洋式化をしております。多目的トイレの設置も計画的に進めており、来年度は東雲運動広場、その後、春日丘運動広場での設置を予定しております。	
佐野委員	東京オリンピックで、若い人の優勝で話題になったスケートボードですが、茨木市内の子供たちにも競技を始めたいとの動きはあるのでしょうか。当然、練習する場所も必要だと思っておりますが、対応は何か計画されていますか。	オリンピックでの日本選手の活躍もあり、スケートボード人気は高まっていると考えますが、現在のところ、施設や設備について整備予定はありません。	

### 第3章 計画の基本的な考え方

		質問・意見等	回答
(1) 基本理念 (2) 基本目標 (3) 施策の方向性(施策体系)	高寺委員	意見：国や府の指導・要請及び市の独自判断で、施設の閉鎖、事業の中止・延期は、市民の健康・安全の確保の為に当然の措置であるが、3密を回避し、感染を防止した事業・行事の開催は模索・工夫できたのではと考える。	新型コロナウイルス感染症対策に関して、本市におけるスポーツ施設を含む公共施設やイベント等の対応は、市民の皆さまの健康と安全を第一に、原則、国や大阪府の要請に準じて対応してきたものです。新しい生活様式の中において、競技種目により状況が異なるため一律での開催は難しいと考えますが、主催者と連携し、各種大会ごとのガイドライン作成などにより、できる限り実施に向けて取り組んでまいります。

### 第4章 生涯スポーツ社会を実現するための施策

(1) 基本目標1 健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進 (2) 基本目標2 人材育成と施設整備によるスポーツ環境の充実	—	—	—
---	---	---	---

### 第5章 計画の推進に向けて

(1) 計画の推進体制 (2) 施策や事業の点検・評価 (3) 関係団体・組織との連携	—	—	—
---	---	---	---

### 資料編

		質問・意見等	回答
(1) アンケート結果の詳細 (2) 国・大阪府における関連計画 (3) 計画改訂の経過 (4) 茨木市スポーツ推進審議会条例 (5) 茨木市スポーツ推進審議会委員名簿 (6) 成果指標と進捗状況	高寺委員	81P:「活動場所の融通」の真意は測りかねるが、市立小中学校の体育館を活動場所としている団体は、卒業式・入学式や選挙・地域行事等で体育館の確保に苦勞していることが推察される。市民体育館は土日が満杯状態で抽選申請しても当選する確率は低く、利用日直前に空きになっても、参加者に連絡する時間的余裕がない場合が多い。 82P:「新たな施設の整備」が55.3%を占めることも、活動場所の確保に苦勞していると推測。 ただ、A3サイズの「茨木市スポーツ推進計画」中間見直しの考え方にある、「施設の維持管理費の増加」は良く理解できる。前回の第一回の審議会で質問した「各施設の整備改修額の利用収入の割合」は、この維持費用と利用収入とのバランスを確認する目的があった。 神戸市役所が「神戸株式会社」と言われる所以は、支出より収入が勝っていることを示していると理解している。この神戸方式を参考に収支のバランス改善に取り組んで貰いたい。	—
	佐野委員	山間部地域での公民館地区体育祭の実情を述べさせていただきます。 ここ数年、公民館が避難所として開設される災害が増えてきました。そのような状況の中、普段からの地域住民の交流の場として、また地域から出て行かれた方の帰郷の場としての地区体育祭はぜひ続けていきたいと思えます。 しかし、六つの地域が集まって実施していますが、チーム編成が出来ないなど高齢化と住民の減少が続いています。競争が主ではない参加者が少なくてもできるイベントへと取り組みたいと思えます。良い方向性や、個々のプログラムがあれば取り入れていきたいと思えます。	—
			現在、全庁的に使用料・利用料の見直しの検討を進めており、スポーツ施設においても利用しやすい施設であることを基本に、収支バランスの改善にも取り組んでまいります。

### 改訂にあたっての全般的な意見

		質問・意見等	回答
	長田委員	・実施計画について 改訂版案は、茨木市スポーツ推進計画の基本的考え方であると理解のうえ周知させて頂こうと考えています。 推進計画(改訂版)を基本にしまして 各種の実施計画を立案することが望まれているものと理解致しています。 その実施計画に対して 担当制の導入をご提案させていただきます。各委員が各競技ごとに役割分担制を明確にすることででしょうか。	—
		・進捗管理について 各種実施計画を役割り分担ごとに進捗管理が出来ますようご指導のほど宜しくお願い申し上げます。	
		・課題の明確化について 進捗管理のうえ、各種の課題を明確にして次に活かしていく進め方の導入を提案しようとするものです。	

### 【基本理念と本計画の構成】

#### 計画の基本的な考え方

すべての市民がそれぞれの興味、体力、技能、目的等に応じて、生涯にわたってスポーツに親しめるように、また、スポーツを常に身近に感じられるよう、「すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるまち（生涯スポーツ社会）の実現」を本計画の基本理念（スローガン）とし、市民の生涯スポーツを推進していきます。」

#### 第1章 推進計画の改訂にあたって

1. 改訂の趣旨
2. 基本的視点
3. 位置づけ
4. 目標年次  
計画期間を令和8年度まで1年延長
5. 本計画における「スポーツ」「運動」の定義について

#### 第2章 スポーツ推進の現状と課題

1. 茨木市の背景と現状
2. 国・大阪府の動き
3. 茨木市におけるスポーツ活動の現状
4. 計画前期における施策・指標の振り返りと課題
5. アンケート結果からみる現状
6. 計画の改訂に向けた考え方と方向性

#### 第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念
2. 基本目標
3. 施策の方向性（施策体系）

#### 第4章

#### 生涯スポーツ社会を実現するための施策

基本目標1  
健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進

基本目標2  
人材育成と施設整備によるスポーツ環境の充実

#### 第5章 計画の推進に向けて

1. 計画の推進体制
2. 施策や事業の点検・評価
3. 関係団体・組織との連携

### 本市におけるスポーツ活動の振り返り

#### ○国・大阪府におけるスポーツ推進施策の動き

- 国：スポーツ庁設立・第2期スポーツ基本計画策定
- 大阪府：第2次大阪府スポーツ推進計画
- 【本計画との整合性からみる取り組むべき事項】
- ①スポーツ施設の全体最適化
- ②「みる」「支える」スポーツの発展を通じた競技スポーツの推進

#### ○茨木市におけるスポーツ活動等の現状

- 各スポーツ団体による活動や公民館講座など運動に関する様々な講座や行事等が継続している。
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、スポーツ教室の受講者数が減少。
- 市内のスポーツ施設の利用者数が減少傾向。

#### ○計画前期における施策・指標の振り返りと課題

- 【基本目標1における各施策の方向性の課題】
- (1)：競技スポーツの推進の観点からトップアスリート交流事業等の位置づけや内容を明確にする必要。
- (2)：市民総合スポーツ大会の高校生以下の参加者数が減少傾向。新しい生活様式に対応したスポーツ活動の継続支援が必要。
- (3)：新型コロナウイルス感染症によりイベントが縮小・中止。子育て世代へのスポーツプログラムの充実が必要。
- (4)：新型コロナウイルス感染症により介護予防事業が縮小。感染予防対策を講じつつ継続して高齢者に健康増進の機会を提供できる創意工夫が必要。
- (5)：障害者スポーツの参加が拡大。「ユニバーサルスポーツ」としての浸透への取組必要。
- (6)：スポーツ施設の老朽化が進行。縮小や統廃合を含め、多角的な視点からの整備、管理運用方針の策定が必要。

#### 【基本目標2における各施策の方向性の課題】

- (1)：総合型地域スポーツクラブの会員減少傾向。中間支援組織の取組支援を通じた質的向上が必要。
- (2)：公認資格保有指導者やスポーツボランティアなどの「支える」人材を増加させる施策の展開
- (3)：計画前期に築いた市内外の関係団体との継続的な協働関係による地域スポーツの活性化

#### ○アンケート結果からみる現状

#### 【スポーツ活動団体向けアンケート】

- 地域住民の高齢化や参加者の固定化により、プレーヤーや選手が不足。
- 練習場所の利用時間拡大や活動費用の助成、学校部活動との融合など、「場所」「資金」「人材」のそれぞれにおける支援が必要。
- 新型コロナウイルス感染症により練習機会が減少したとともに、会員の活動意欲の低下も顕著。

#### 【公民館向けアンケート】

- 運営の担い手不足と高齢化が深刻し、担い手確保に苦慮。
- 地区体育祭が地域の連帯を生み出す契機として機能。
- 規模の縮小や合同開催、感染予防対策を講じた上での実施など、多様な実施方法を検討する。

### 改訂に向けた考え方

- ①スポーツ施設の適正化と整備
- ②競技スポーツの推進
- ③新型コロナウイルス感染症対策とスポーツ活動支援

### 基本理念

すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるまちづくり  
～市民のスポーツの推進と生涯スポーツ社会の実現をめざして～

### 施策の方向性と実施施策

計画前期までの施策を引き続き継続するとともに、改訂に向けた課題を受け、更なる取組が必要な施策を重点施策と位置づけ、市民のスポーツ実施率（週1回）の向上と基本理念の達成を目指します。

#### 基本目標1 健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進

##### 施策の方向性（1）多様な生涯スポーツの普及・啓発 拡充

- ①スポーツの普及・啓発 ②スポーツに関する情報の積極的発信 ③誰もが楽しめるスポーツの普及啓発

##### 施策の方向性（2）スポーツを通じた健やかな子どもの育成

- ①親子で楽しむスポーツ活動の充実 ②小・中学校における体力向上の取組の推進 ③学校部活動の充実 ④子どもを対象としたスポーツ活動の充実

##### 施策の方向性（3）成人のスポーツへの参加機会の充実

- ①スポーツを通じた健康づくり ②働き世代・子育て世代のスポーツへの参加機会の充実

##### 施策の方向性（4）高齢者スポーツの推進

- ①運動・スポーツを通じた介護予防活動の推進 ②身近なスポーツ・レクリエーション活動の充実

##### 施策の方向性（5）障害者スポーツの推進

- ①障害者スポーツ活動への支援の充実 ②障害者のスポーツ・レクリエーション活動の充実

#### 基本目標2 人材育成と施設整備による生涯スポーツの発展

##### 施策の方向性（1）地域スポーツの推進

- ①総合型地域スポーツクラブへの支援 ②地域におけるスポーツ活動の推進

##### 施策の方向性（2）スポーツを支える人材の育成と支援

- ①スポーツ指導者の確保・育成 ②スポーツボランティアの育成と活用

##### 施策の方向性（3）スポーツ施設の整備・充実 拡充

- ①スポーツ施設の整備・充実 ②効率的なスポーツ施設の運営と利便性の向上 ③学校体育施設の開放

##### 施策の方向性（4）連携と協働による生涯スポーツの活性化

- ①スポーツ関係団体との連携の強化と支援の充実 ②大学や企業等との連携

### 計画の進捗管理

- 施策の着実な進捗を把握するために、施策推進に関わる庁内関係課の役割を明確にし、連携を図りながら施策を水平展開します。
- 施策を継続的に改善していくため、学識経験者、スポーツ団体関係者、学校関係者、市民等から構成された「茨木市スポーツ推進審議会」において、施策を検証・評価します。
- 検証・評価の結果から原因を分析し、施策の改善や計画の見直しを検討します。

